

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和08年01月16日

計画の名称	川崎市公共下水道 社会資本総合整備重点計画（防災・安全）											
計画の期間	令和08年度 ~ 令和11年度（4年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	川崎市											
計画の目標	下水道による水循環の形成											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	32,333	A	32,333	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6末		R11末
1	排水樋管周辺地域の浸水対策累計実施数を7対策（R6末）から11対策（R11末）に増加 排水樋管周辺地域（山王、宮内、諏訪、二子、宇奈根地域）における短期対策、当面の対策、中期対策（計11対策）の実施	7対策	対策	11対策
2	重要な管きよの耐震化率（%）を86.4%（R6末）から89.0%（R11末）に増加 市内全域において、重要な管きよの地震対策が完了した延長の割合 重要な管きよの耐震化率（%）=耐震化された重要な管きよ延長/重要な管きよの総延長	864%	%	890%
3	ポンプ場の汚水揚水機能確保率（%）を63.6%（R6末）から81.8%（R11末）に増加 ポンプ場において、汚水揚水機能を対象とした地震対策が完了した施設の割合 ポンプ場の汚水揚水機能確保率（%）=地震時の汚水揚水機能の確保に向けた対策が完了した汚水ポンプ場数/汚水ポンプ場数	636%	%	818%
4	下水道施設の燃料貯蔵容量確保率（%）を8.3%（R6末）から25.0%（R11末）に増加 ポンプ場、水処理センター及びスラッジセンターにおいて、燃料貯蔵容量の確保へ向けた対策が完了した施設の割合 下水道施設の燃料貯蔵容量確保率（%）=災害時の燃料貯蔵容量の確保に向けた対策が完了したポンプ場、水処理センター、スラッジセンター数/ポンプ場、水処理センター、スラッジセンター数	83%	%	250%
5	汚泥圧送管（麻生水処理センター～等々力水処理センター間）の条数を1条（R6末）から2条（R11末）に増加 汚泥圧送管の総条数（麻生水処理センター～等々力水処理センター間） 汚泥圧送管の総条数（条）=既設汚泥圧送管条数+計画期間内に新設する汚泥圧送管条数	1条	条	2条

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												R08	R09	R10	R11	R12			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	管渠(雨水)	新設	浸水対策(管きょ)	ポンプゲート設備等(宮内、諏訪、二子、宇奈根)	川崎市						4,850		策定済
		通常の下水道事業																	
	A07-002	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	管渠(雨水)	改築	浸水対策(管きょ)	排水樋管(遠隔操作設備等)	川崎市						200		策定済
		下水道ストックマネジメント支援制度																	
	A07-003	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	管渠(合流)	改築	地震対策(管きょ)	防災拠点接続管等(L=6,915m)	川崎市						2,990		-
		下水道総合地震対策事業(上下水道耐震化計画)																	
	A07-004	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	管渠(合流)	改築	地震対策(管きょ)	緊急輸送路埋設管等(L=20,400m)	川崎市						10,380		-
		下水道総合地震対策事業																	
	A07-005	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	改築	地震対策(ポンプ場)	汚水揚水施設の耐震化(小向ポンプ場)	川崎市						20		-
		下水道総合地震対策事業																	
	A07-006	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	改築	地震対策(ポンプ場)	燃料タンクの改築(戸手ポンプ場)	川崎市						940		策定済
		下水道ストックマネジメント支援制度																	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	
												R08	R09	R10	R11	R12				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
水道・下水道事業	A07-007	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	終末処理場	改築	地震対策(終末処理場)	燃料タンクの改築(等々力・麻生水処理センター)ほか	川崎市						990		策定済	
		下水道ストックマネジメント支援制度																		
	A07-008	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	終末処理場	新設	地震対策(終末処理場)	汚泥圧送管等	川崎市							142		-
		下水道総合地震対策事業																		
	A07-009	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	改築	老朽化対策(ポンプ場等)	ポンプ場等における機械・電気設備等の計画的な更新等(重点)	川崎市							3,671		策定済
		下水道ストックマネジメント支援制度																		
	A07-010	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	終末処理場	改築	老朽化対策(終末処理場)	水処理センター等における機械・電気設備等の計画的な更新等(重点)	川崎市							8,150		策定済
		下水道ストックマネジメント支援制度																		
											小計							32,333		
											合計							32,333		

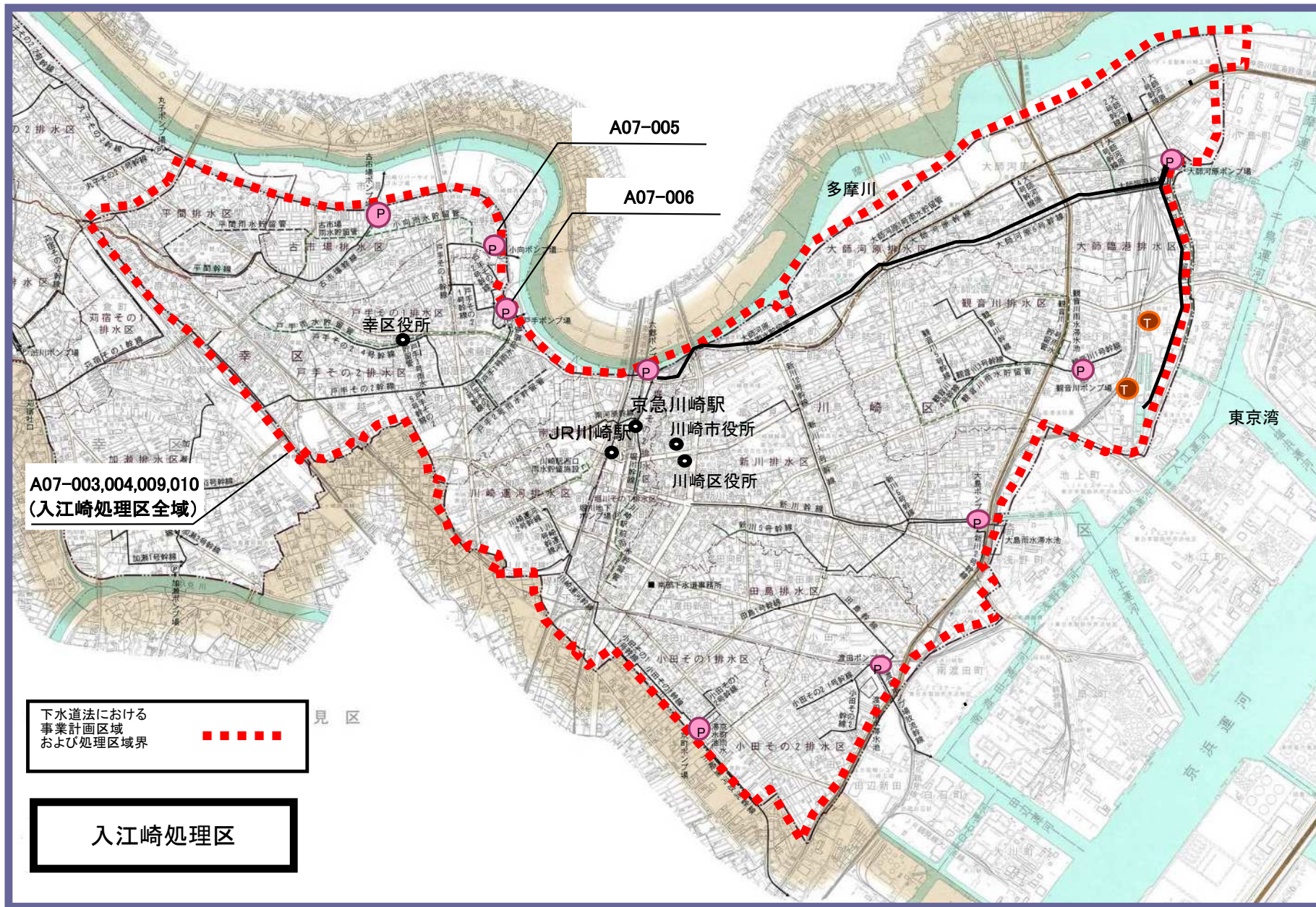
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R08				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

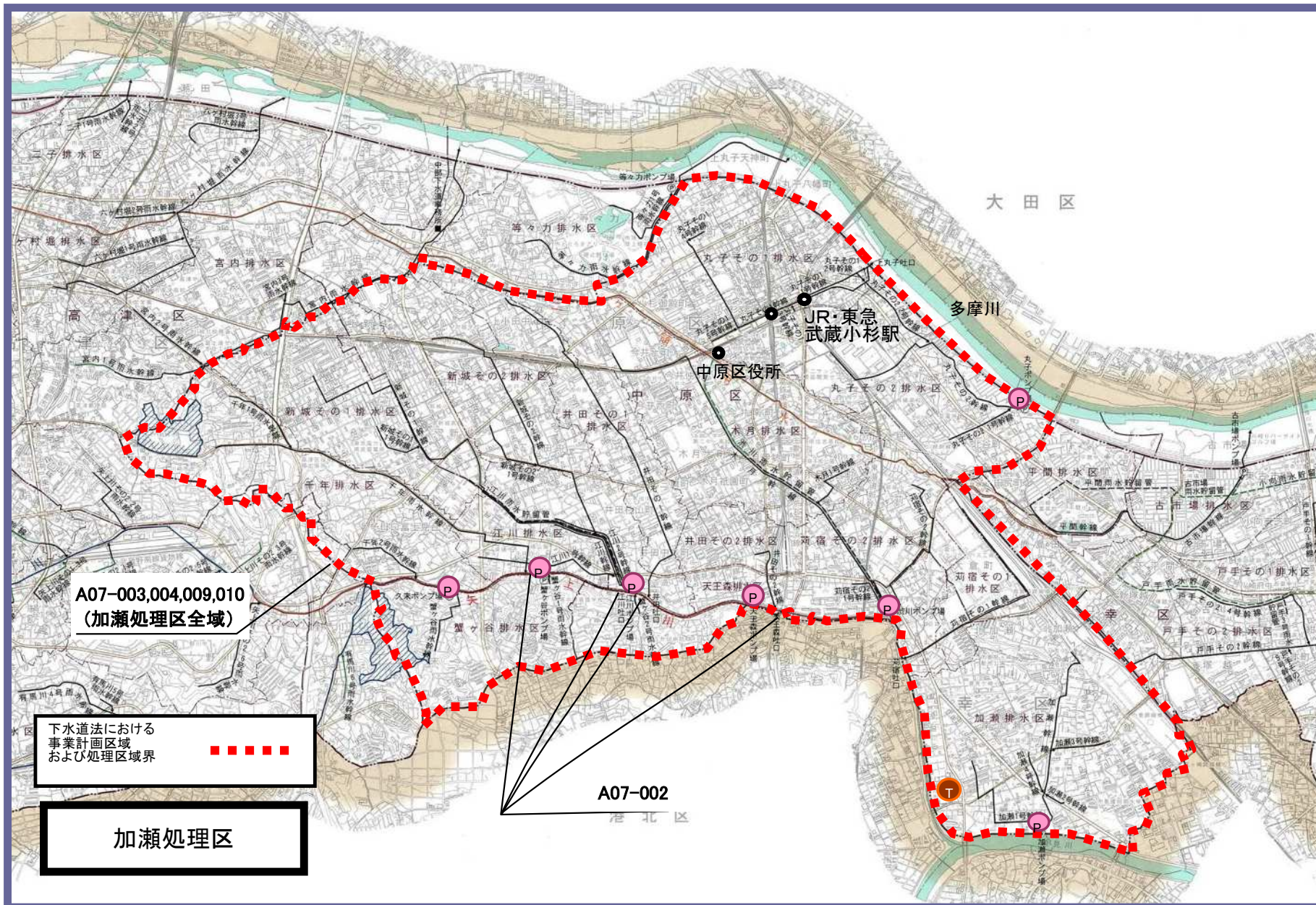
(参考図面)

計画の名称	川崎市公共下水道 社会資本総合整備重点計画 (防災・安全)	交付対象	川崎市
計画の期間	令和8年度 ~ 令和11年度 (4年間)		



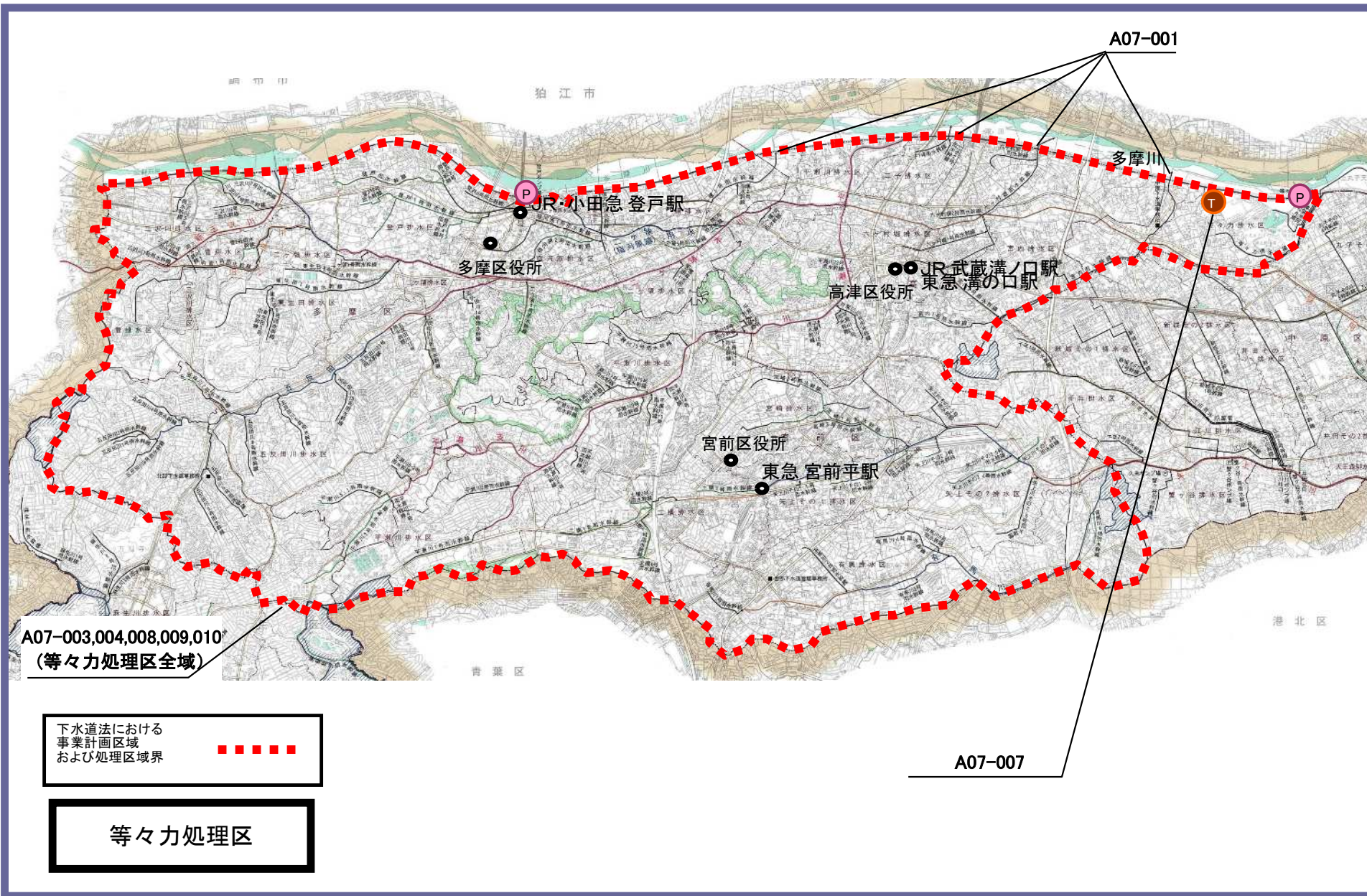
(参考図面)

計画の名称	川崎市公共下水道 社会資本総合整備重点計画 (防災・安全)	交付対象	川崎市
計画の期間	令和8年度 ~ 令和11年度 (4年間)		



(参考図面)

計画の名称	川崎市公共下水道 社会資本総合整備重点計画 (防災・安全)	交付対象	川崎市
計画の期間	令和8年度 ~ 令和11年度 (4年間)		



(参考図面)

